
公益社団法人日本交通政策研究会

東京モーターショー・シンポジウム

運輸部門のゼロエミッション化

令和元年9月

拝啓 毎々格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当研究会は、交通政策、経済等関連する諸問題を中心に時宜適ったテーマよりシンポジウムを開催することにしております。

クルマを取り巻く環境の中で、運輸部門のゼロエミッションは、クルマとどのような関係があるのでしょうか・・・

パリ協定において運輸部門はエネルギー起源 CO₂ 排出量 2013 年度比約-28%という目標を掲げていますが、2030 年の目標年まで約 10 年となった現在、その進捗は必ずしも芳しいとはいえません。

本シンポジウムは、EV やコンパクトシティなどの主な政策の効果を検討し、今後の運輸部門のゼロエミッション化について検討します。

今般、第 46 回東京モーターショー2019 開催期間中、東京モーターショー・シンポジウム 2019 が開催されますが、その中で、「運輸部門のゼロエミッション化」と題して、今後の運輸部門のゼロエミッション化について考える場を設けました。

ふるってご参加賜りたくご案内申し上げます。

敬具

1. 開催日時 令和元年10月29日（火）15:00～17:00
2. 開催場所 東京ビッグサイト 会議棟6F 609会議室
<https://www.tokyo-motorshow.com/access/>
この会議棟は東京モーターショーの会場と隣接していますが、モーターショー入場券なしで入れます。
3. 実施者 公益社団法人日本交通政策研究会
4. 参加費 無料
5. お申し込み
会場の入場者数には限りがございますので、おそれいりますが、当研究会ホームページ <http://www.nikkoken.or.jp/> から 10月23日までにお申し込みください。
6. 定員 70名に達しましたら、締め切らせて頂きます。

7. プログラム

- 15:00~15:05 開会挨拶
- 15:05~15:35 プレゼン 1 電気自動車^がCO₂削減に効果を発揮するための電源構成
永田 豊（電力中央研究所）
- 15:35~16:05 プレゼン 2 乗用車起因 CO₂排出量の地域別動向およびそのメッシュ人口
との関係
松橋啓介（国立環境研究所）
- 16:05~16:35 プレゼン 3 運輸部門のゼロエミッション化
室町泰徳（東京工業大学）
- 16:35~17:00 全体討論、質疑応答
- コーディネーター 室町泰徳（前出）
- パネリスト 永田 豊（前出）
- 同上 松橋啓介（前出）

※プログラムは予告なく変更される場合があります

お問い合わせ先

公益社団法人日本交通政策研究会 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-12-6 守住ビル4階

TEL : 03-3263-1945 E-mail : office@nikkoken.or.jp

FAX : 03-3234-4593 Website : <http://www.nikkoken.or.jp/>